

江戸時代(1)

江戸幕府の成立…「織田がつき 羽柴がこねし天下餅 座りしままに食うは徳川」

1600年

【 関ヶ原 】の戦い（岐阜県）…天下分け目の戦い
【 徳川家康 】（東軍） vs 【 石田三成 】（西軍）

1603年

【 徳川家康 】が【 征夷大將軍 】に任命され、
【 江戸 】に幕府を開く→2年後に將軍職を【 徳川秀忠 】に譲る

豊臣氏の滅亡

方広寺鐘銘問題…「国家安康 君臣豊楽」

1614年

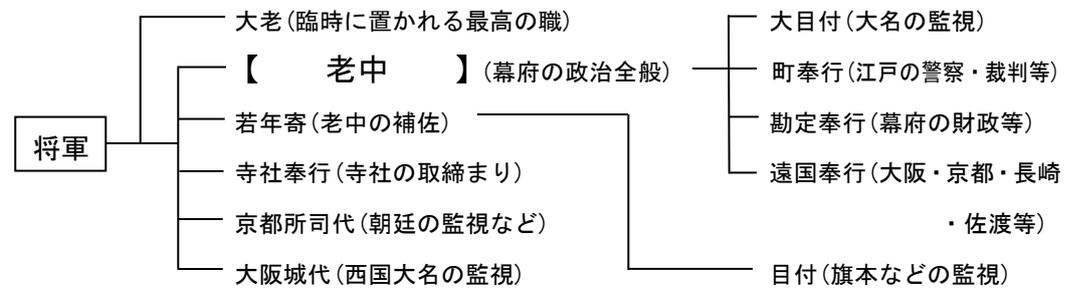
【 大阪（大坂）冬の陣 】

1615年

【 大阪（大坂）夏の陣 】→豊臣氏滅亡

江戸幕府のしくみ…3代將軍【 徳川家光 】の頃までに完成

江戸幕府の組織図



大名…1万石以上の領地を持ち、【 藩 】を統治する

【 親藩 】…徳川家の親族

【 譜代（大名） 】…関ヶ原の戦い以前から徳川に従う

【 外様（大名） 】…関ヶ原の戦い以降、徳川に従う

江戸の近くや
重要な地方を統治

旗本…1万石未満の將軍直属の家臣で、將軍に会うことができる

御家人…1万石未満の將軍直属の家臣で、將軍に会うことができない

【 天領 】…幕府の直轄地（400万石）

その他旗本・御家人の領地と合わせて700万石で、全国の4分の1が幕府の土地

1615年

【 武家諸法度 】…大名の統制

きんちゅうならびにくげしよはつと

禁中並公家諸法度…天皇・公家の統制

1635年

【 参勤交代 】…3代將軍【 徳川家光 】

大名を1年ごとに江戸と領地に住ませ、妻子を人質として江戸に置く

徳川家康…「鳴かぬなら 鳴くまで待とう ほととぎす」

小田原の北条氏が治めていた関東地方を引き継ぎ、

15世紀半ばに【 太田道灌 】によって築かれた江戸城を拠点とする

御三家…【 紀伊 】・【 水戸 】・【 尾張 】

身分制度…「士農工商」

[士] 武士は特権あり…苗字帯刀、切捨御免、城下町に住む

[農] 【 年貢 】 …四公六民～五公五民。武士の生活を支える
助郷役…役人や大名の荷物を運ぶ

【 五人組 】 …年貢や犯罪についての連帯責任制

慶安の御触書…徳川家光が定めたとされていた農民のきまりごと

本百姓…自分の土地をもった農民

水呑百姓…土地をもたず、借りて耕作する農民

村方三役…本百姓の中から選ばれ、領主の指示で村を治める

【 名主 】・【 組頭 】・【 百姓代 】

[工] 職人 } 両方を合わせて【 町人 】とも言う

[商] 商人 } 税はほとんどかからない

江戸時代初期の外交政策

これまでは…

織田信長 キリスト教容認…仏教勢力との対抗⇒南蛮貿易を有利に

豊臣秀吉 キリスト教禁止…武士の支配には不都合⇔南蛮貿易は続ける

徳川家康 キリスト教容認→禁止へ

1600年

オランダ船リーフデ号が豊後（大分県）に漂着

イギリス人ウィリアム＝アダムズとオランダ人ヤン＝ヨーステンが家康の家臣になる

【 朱印船 】 貿易…幕府の許可証（＝【 朱印状 】）を発行

↓
相手国…東南アジアが中心→各地に【 日本町 】が形成される

【 山田長政 】…シャム（現在のタイ）のアユタヤ王朝に仕えた

- ・キリスト教の布教によって、スペインやポルトガルに侵略される恐れ
- ・キリシタンたちが団結して幕府に反抗する恐れ
- ・西国のキリシタン大名たちが貿易で経済力をつける恐れ

1624年

スペイン船の来航を禁止→日本人の海外渡航と帰国を禁止（1635年）

1637年

【 島原・天草 】一揆…キリシタン・百姓ら約37000人による一揆

16歳の【 益田四郎時貞 】（天草四郎）を頭に、島原の原城を制圧

幕府の力だけでは抑えきれず、オランダの助けを借りて鎮圧

当時の将軍は【 徳川家光 】

→キリシタンの取り締まりを強化

【 絵踏 】…キリスト教の信者でないことを証明させる

【 寺請 】制度…すべての人を必ずどこかの寺に所属させる

1639年

【 ポルトガル 】船の来航を禁止→鎖国の完成

平戸にあるオランダの商館を長崎の人工島【 出島 】へ移す

貿易は長崎のみに制限…相手国は【 オランダ 】・【 清 】

・オランダ…オランダ商館長に【 オランダ風説書 】を提出させる

・清…正式な国交はないが貿易はさかん 長崎の【 唐人屋敷 】で貿易

┌ 輸入品…生糸・絹織物

└ 輸出品…金・銀・銅→国内で銀が不足→長崎貿易の制限

・琉球王国…島津氏（薩摩）と中国の二重支配を受ける

・朝鮮…【 宗 】氏（対馬）を窓口として、朝鮮の釜山で貿易

将軍の代替わりごとに朝鮮通信使

・蝦夷地…【 松前 】藩が【 アイヌ 】の人々と交易

族長【 シャクシャイン 】の反乱